

## 政策 31 「広域的な地域連携の推進」

政策 31 「広域的な地域連携の推進」は、自治体が抱える様々な課題を協力して解決するため、自治体の区域を越えた広域的な連携を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 31 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 25.8%、低認知度群は 74.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（30.6%）が女性（21.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（35.1%）が 65 歳未満（22.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、石巻圏域（17.2%）では、回答者全体と比較して 8.6 ポイント低い。

(%)

政策 31 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.1	24.7	25.8	56.3	17.9	74.2	100.0

性別	男性	1.3	29.3	30.6	53.3	16.0	69.3	100.0
	女性	0.7	20.3	21.0	59.3	19.6	78.9	100.0
年齢別	65 歳未満	0.8	21.6	22.4	57.3	20.3	77.6	100.0
	65 歳以上	1.8	33.3	35.1	54.0	11.0	65.0	100.0

圏域別	仙台	0.5	24.4	24.9	56.8	18.3	75.1	100.0
	仙南	0.9	26.5	27.4	52.7	19.9	72.6	100.0
	大崎	0.9	29.0	29.9	54.5	15.6	70.1	100.0
	栗原	1.2	28.0	29.2	54.3	16.5	70.8	100.0
	登米	1.9	25.2	27.1	53.8	19.0	72.8	100.0
	石巻	1.7	15.5	17.2	65.2	17.7	82.9	100.0
	気仙沼・本吉	0.4	22.2	22.6	58.5	18.8	77.3	100.0

有効回答者数 1,581 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 51.6%、低認知度群は 48.4%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)では 34.1 ポイント、登米圏域(83.3%)では 31.7 ポイント、気仙沼・本吉圏域(65.8%)では 14.2 ポイント、石巻圏域(59.1%)では 7.5 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域(42.6%)では 9.0 ポイント、大崎圏域(43.5%)では 8.1 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 60.6%、低認知度群は 39.4%である。

(%)

政策 31 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.3	48.3	51.6	43.5	4.9	48.4	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	45.7	50.0	41.4	8.6	50.0	100.0
	仙南	3.7	38.9	42.6	53.7	3.7	57.4	100.0
	大崎	5.3	38.2	43.5	52.6	3.9	56.5	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	0.0	83.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	0.0	59.1	59.1	40.9	0.0	40.9	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	65.8	65.8	31.6	2.6	34.2	100.0

有効回答者数 329 名

学識者等全体	4.5	56.1	60.6	37.9	1.5	39.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 31 の関心度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 62.7%、低関心度群は 37.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（66.6%）が女性（59.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（72.4%）が 65 歳未満（59.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（50.9%）では、回答者全体と比較して 11.8 ポイント低い。

（%）

政策 31 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	12.6	50.1	62.7	31.7	5.6	37.3	100.0

性別	男性	14.6	52.0	66.6	28.9	4.6	33.5	100.0
	女性	10.6	48.6	59.2	34.3	6.5	40.8	100.0
年齢別	65 歳未満	9.0	50.3	59.3	34.7	6.0	40.7	100.0
	65 歳以上	22.9	49.5	72.4	23.2	4.4	27.6	100.0

圏 域 別	仙台	14.5	52.3	66.8	27.6	5.6	33.2	100.0
	仙南	10.5	54.6	65.1	29.7	5.2	34.9	100.0
	大崎	11.7	53.0	64.7	32.6	2.6	35.2	100.0
	栗原	16.5	49.0	65.5	27.6	6.9	34.5	100.0
	登米	16.2	43.3	59.5	35.2	5.2	40.4	100.0
	石巻	6.6	44.3	50.9	43.7	5.5	49.2	100.0
	気山沼・本吉	10.9	53.4	64.3	28.2	7.6	35.8	100.0

有効回答者数 1,607 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 79.0%、低関心度群は 21.0%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（89.5%）では 10.5 ポイント、栗原圏域（85.7%）では 6.7 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 86.4%、低関心度群は 13.6%である。

(%)

政策 31 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	18.6	60.4	79.0	19.8	1.2	21.0	100.0	
圏 域 別	仙台	16.2	58.1	74.3	23.1	2.6	25.7	100.0
	仙南	14.3	66.1	80.4	19.6	0.0	19.6	100.0
	大崎	18.4	61.8	80.2	18.4	1.3	19.7	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	16.7	58.3	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	17.4	65.2	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気仙沼・本吉	34.2	55.3	89.5	10.5	0.0	10.5	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	30.3	56.1	86.4	12.1	1.5	13.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 31 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.2%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.0%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.3%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.3	(80.7)
満足度 60点未満の割合		60.5
要検討領域にある回答者全体の割合		41.2

有効回答者数；重視度 1,587人、満足度 1,573人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	1587	1573
	欠損値	134	148
平均値		68.94	50.19
平均値の標準誤差		.422	.433
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.793	17.163
分散		281.990	294.574
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.5	(86.5)
満足度 60点未満の割合		53.5
要検討領域にある回答者全体の割合		40.0

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		71.78	53.50
平均値の標準誤差		.864	.822
中央値		70.00	55.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.794	15.005
分散		249.445	225.148
範囲		95	95
最小値		5	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	81.3	65.0	16.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

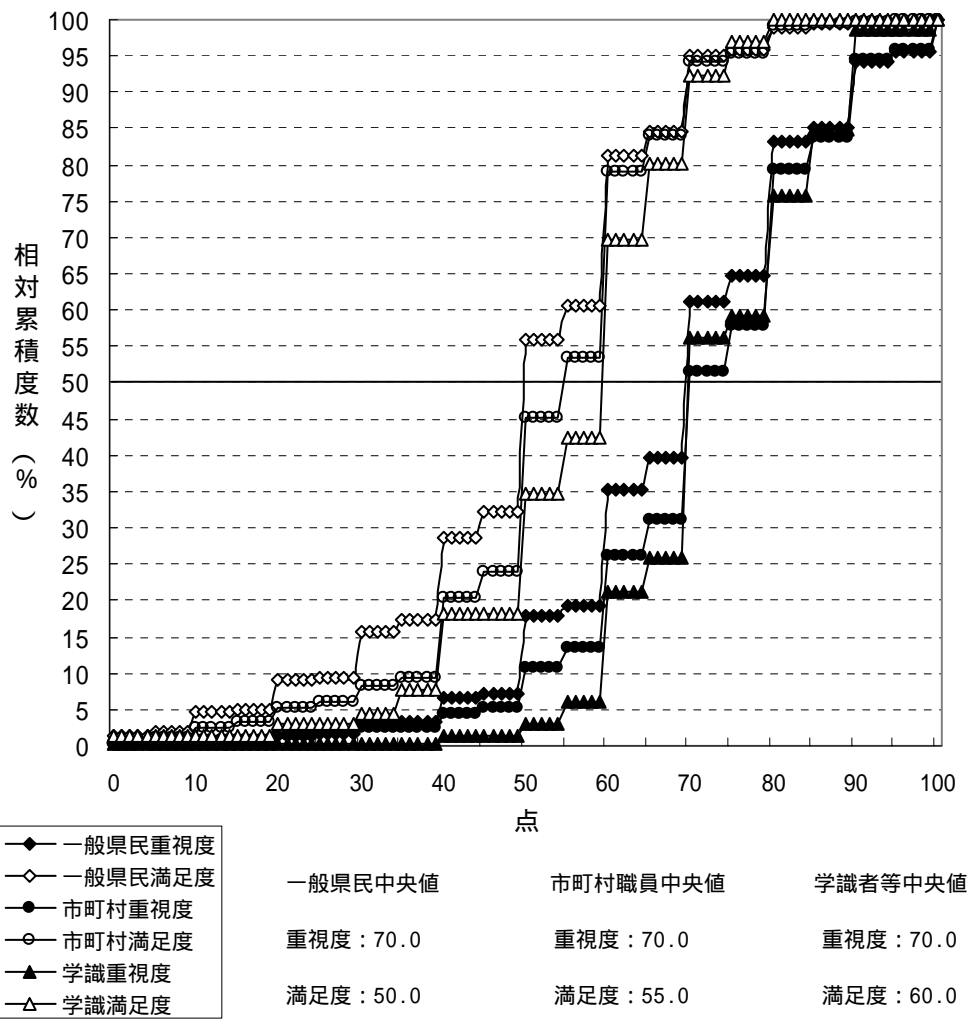
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.1	(93.9)
満足度 60点未満の割合		42.4
要検討領域にある回答者全体の割合		36.3

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		73.41	56.36
平均値の標準誤差		1.453	1.629
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		11.805	13.230
分散		139.353	175.035
範囲		60	65
最小値		40	15
最大値		100	80
パーセンタイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	70.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	81.25	65.00

「政策31 広域的な地域連携の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 44.3%、女性 38.4%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

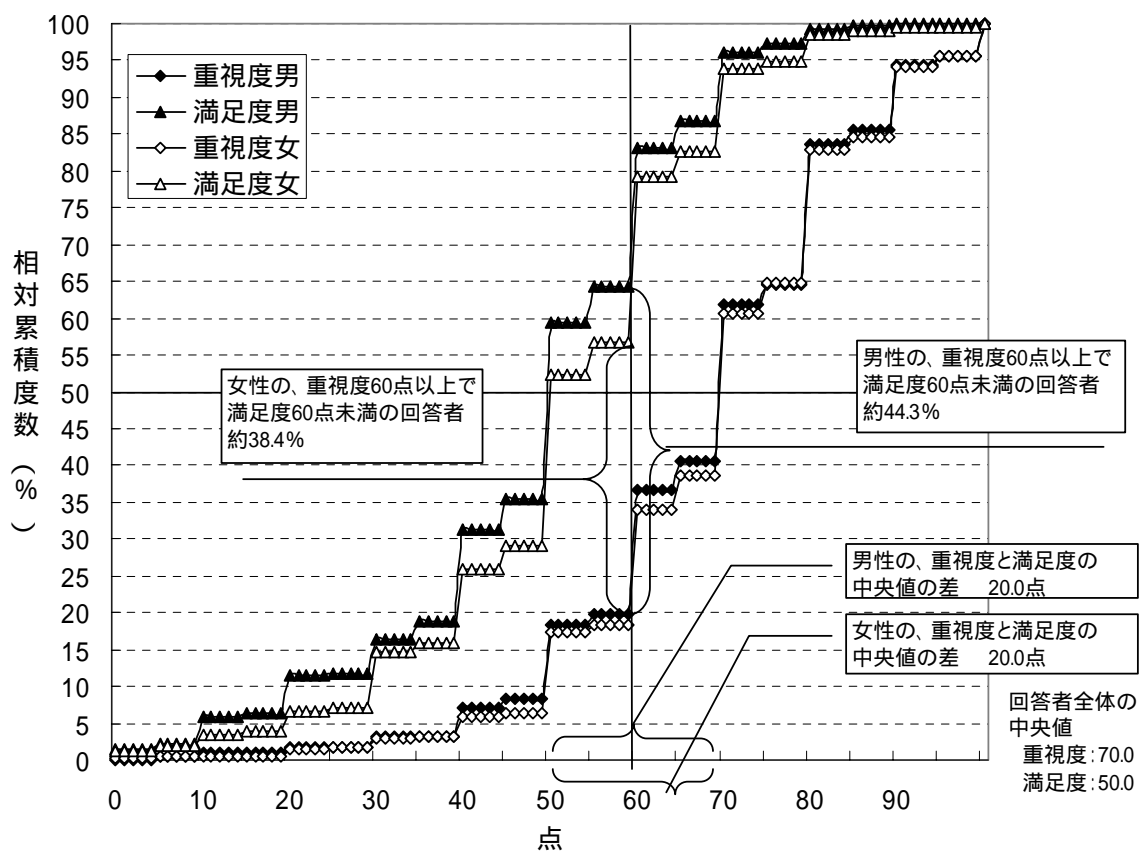
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	19.9 (80.1)	18.4 (81.6)
満足度 60 点未満の割合	64.2	56.8
要検討領域にある回答者全体の割合	44.3	38.4



(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	762	757
	欠損値	41	46
平均値		68.57	48.63
平均値の標準誤差		.616	.632
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.014	17.376
分散		289.475	301.931
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	809	801
	欠損値	87	95
平均値		69.30	51.73
平均値の標準誤差		.579	.596
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.466	16.870
分散		271.139	284.600
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

## 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 41.8%、65 歳以上 39.6%と推定できる。

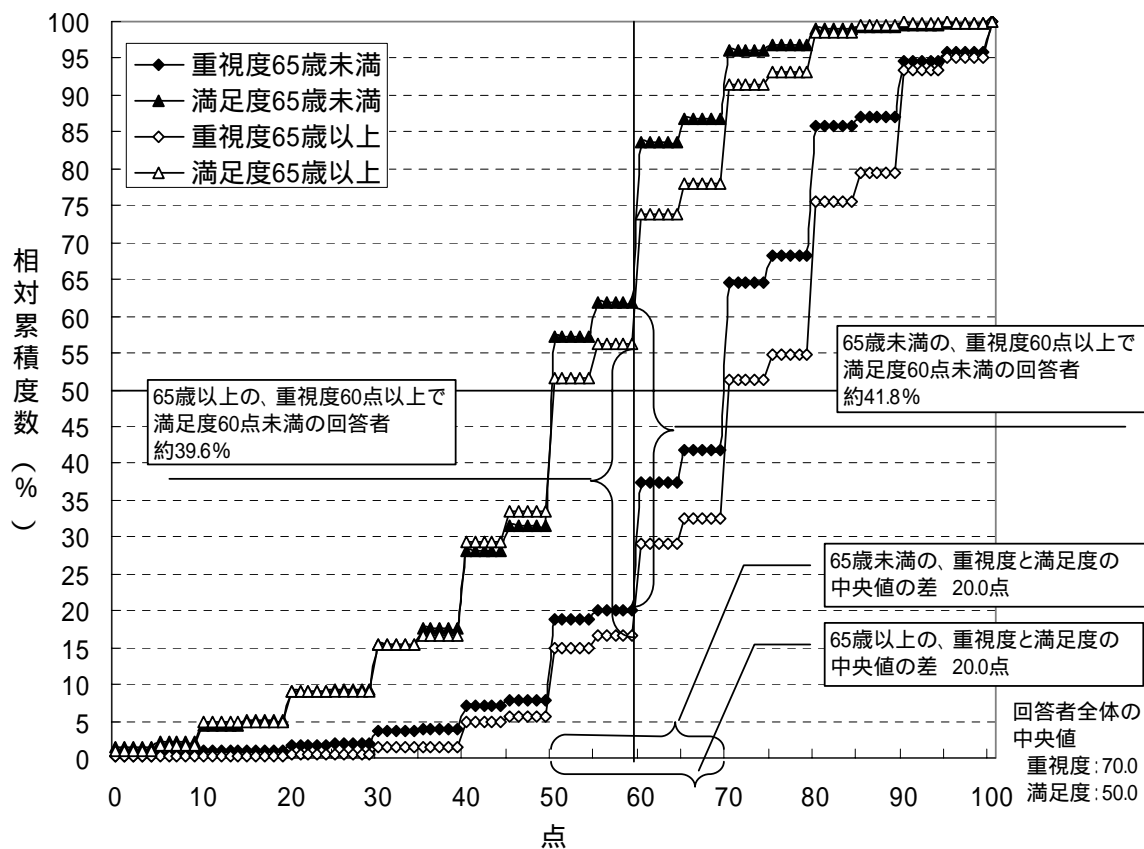
## 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

## 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	20.0 (80.0)	16.7 (83.3)
満足度 60 点未満の割合	61.8	56.3
要検討領域にある回答者全体の割合	41.8	39.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	1173	1167
	欠損値	67	73
平均値		67.85	49.77
平均値の標準誤差		.492	.493
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.848	16.835
分散		283.862	283.418
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	396	389
	欠損値	61	68
平均値		72.13	51.61
平均値の標準誤差		.801	.920
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.945	18.143
分散		254.233	329.177
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(9.4点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(85.0点)が回答者全体(70.0点)よりも15.0ポイント、

気仙沼・本吉圏域(80.0点)が10ポイント、大崎圏域(75.0点)が5ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)の4圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きく、栗原圏域(2.5点)が小さい。

## 【一般県民】

## 中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	41.3	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	18.8	20.0	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	9.4	10.0	10.0	10.0	10.0

## 【市町村職員】

## 中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	75.0	85.0	72.5	70.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	55.0	50.0	52.5
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	25.0	17.5	20.0	27.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	60.0	50.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	15.0	0.0	10.0	20.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	80.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	25.0	20.0	25.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	7.5	15.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	5.0	5.0	7.5	7.5	2.5	5.0	7.5	10.0

#### 4. 政策 31 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

- 第 1 位は施策 7 「生活・医療面での連携」( 44.4% ) である。
- 第 2 位は施策 1 「地方分権の推進のための連携」( 13.8% ) である。
- 第 3 位は施策 3 「環境の保全のための連携」( 13.3% ) である。

市町村職員では、

- 第 1 位は施策 7 「生活・医療面での連携」( 33.1% ) である。
- 第 2 位は施策 1 「地方分権の推進のための連携」( 25.7% ) である。
- 第 3 位は施策 6 「観光・経済面での連携」( 15.2% ) である。

学識者では、

- 第 1 位は施策 6 「観光・経済面での連携」( 29.9% ) である。
- 第 2 位は施策 7 「生活・医療面での連携」( 19.4% ) である。
- 第 3 位は施策 1 「地方分権の推進のための連携」( 17.9% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

- 第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 7 「生活・医療面での連携」である。
- 第 2 位は、65 歳未満では施策 3 「環境の保全のための連携」、65 歳以上では施策 1 「地方分権の推進のための連携」である。
- 第 3 位は、65 歳未満では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、65 歳以上では施策 3 「環境の保全のための連携」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 7 「生活・医療面での連携」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 3 「環境の保全のための連携」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「高速道路、空港、港湾などの活用のための連携」である（石巻圏域では施策 1 と施策 3 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 3 「環境の保全のための連携」、仙台圏域では施策 2 「高速道路、空港、港湾などの活用のための連携」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「観光・経済面での連携」である。

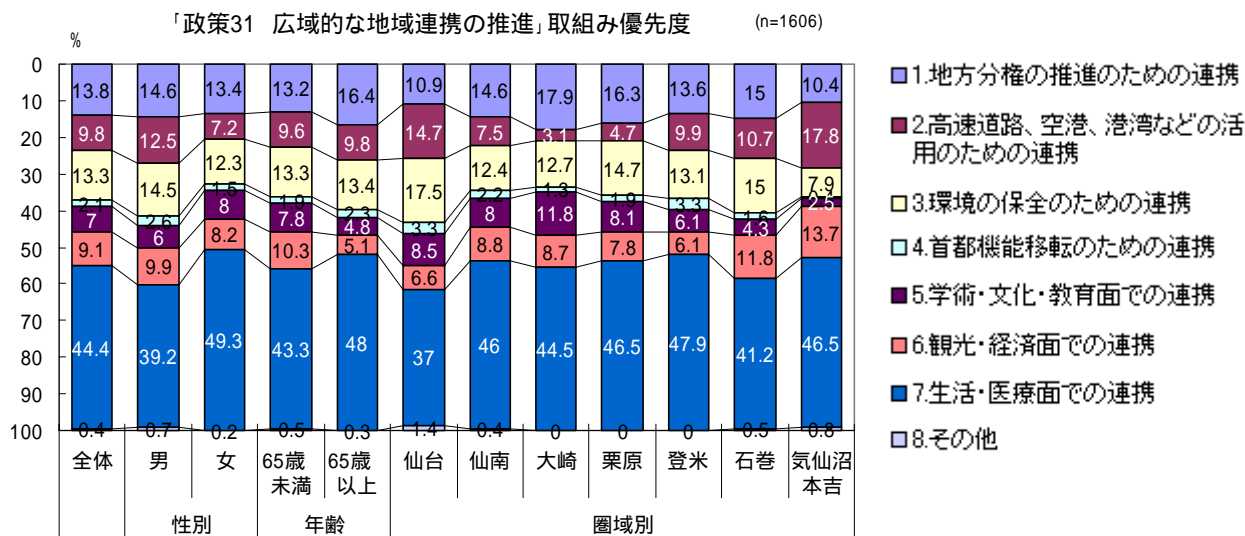
市町村職員では、

第 1 位は、仙台、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 7 「生活・医療面での連携」、仙南、登米、石巻の 3 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」である（石巻圏域では施策 1 と施策 7 が共に第 1 位になっている）。

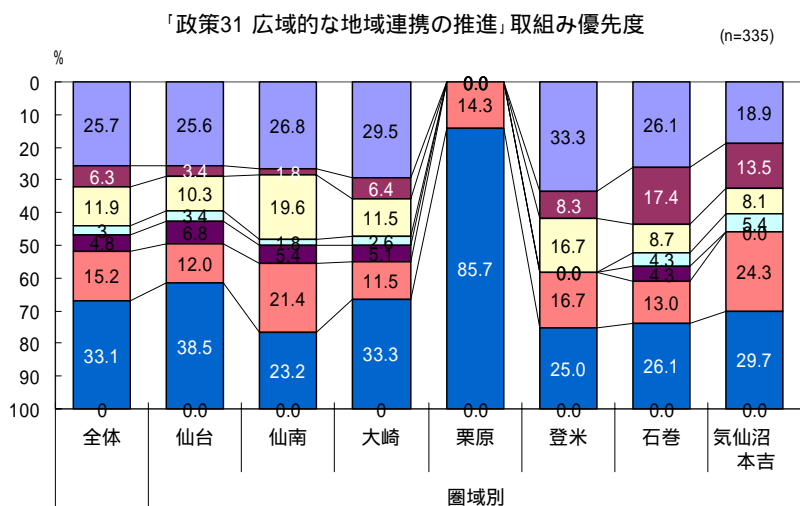
第 2 位は、仙台、大崎の 2 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、仙南、登米の 2 圏域では施策 7 「生活・医療面での連携」、栗原、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 6 「観光・経済面での連携」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、登米の 4 圏域では施策 6 「観光・経済面での連携」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 3 「環境の保全のための連携」、栗原、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、栗原圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」と施策 2 「高速道路、空港、港湾などの活用のための連携」と施策 4 「首都機能移転のための連携」と施策 5 「学術・文化・教育面での連携」と施策 6 「その他」である（大崎圏域では施策 3 と施策 6 が、栗原圏域では施策 1 と施策 2 と施策 3 と施策 4 と施策 5 と施策 8 が、登米圏域では施策 3 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

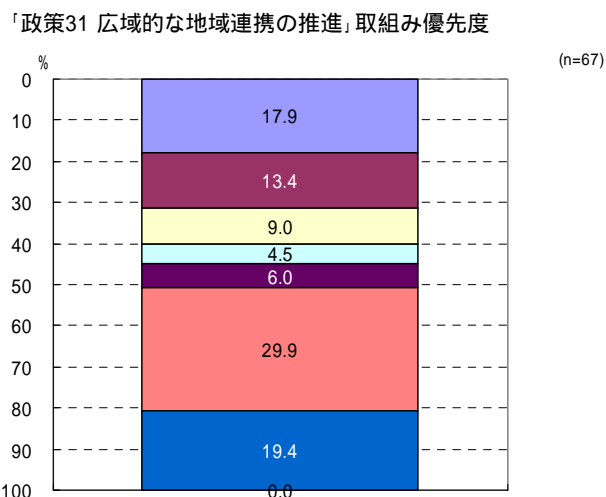
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】





政策 31 「広域的な地域連携の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地方分権の推進のための連携	13.8	14.6	13.4	13.2	16.4	10.9	14.6	17.9	16.3	13.6	15.0	10.4
2	2.高速道路、空港、港湾などの活用のための連携	9.8	12.5	7.2	9.6	9.8	14.7	7.5	3.1	4.7	9.9	10.7	17.8
3	3.環境の保全のための連携	13.3	14.5	12.3	13.3	13.4	17.5	12.4	12.7	14.7	13.1	15.0	7.9
4	4.首都機能移転のための連携	2.1	2.6	1.5	1.9	2.3	3.3	2.2	1.3	1.9	3.3	1.6	0.4
5	5.学術・文化・教育面での連携	7.0	6.0	8.0	7.8	4.8	8.5	8.0	11.8	8.1	6.1	4.3	2.5
6	6.観光・経済面での連携	9.1	9.9	8.2	10.3	5.1	6.6	8.8	8.7	7.8	6.1	11.8	13.7
7	7.生活・医療面での連携	44.4	39.2	49.3	43.3	48.0	37.0	46.0	44.5	46.5	47.9	41.2	46.5
8	8.その他	0.4	0.7	0.2	0.5	0.3	1.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地方分権の推進のための連携	25.7	25.6	26.8	29.5	0.0	33.3	26.1	18.9
2	2.高速道路、空港、港湾などの活用のための連携	6.3	3.4	1.8	6.4	0.0	8.3	17.4	13.5
3	3.環境の保全のための連携	11.9	10.3	19.6	11.5	0.0	16.7	8.7	8.1
4	4.首都機能移転のための連携	3.0	3.4	1.8	2.6	0.0	0.0	4.3	5.4
5	5.学術・文化・教育面での連携	4.8	6.8	5.4	5.1	0.0	0.0	4.3	0.0
6	6.観光・経済面での連携	15.2	12.0	21.4	11.5	14.3	16.7	13.0	24.3
7	7.生活・医療面での連携	33.1	38.5	23.2	33.3	85.7	25.0	26.1	29.7
8	8.その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.地方分権の推進のための連携	17.9
2	2.高速道路、空港、港湾などの活用のための連携	13.4
3	3.環境の保全のための連携	9.0
4	4.首都機能移転のための連携	4.5
5	5.学術・文化・教育面での連携	6.0
6	6.観光・経済面での連携	29.9
7	7.生活・医療面での連携	19.4
8	8.その他	0.0

